

事業名：一般国道41号 美濃加茂バイパス

意見・質問	回答
<p>事業進捗率がH28年度から変化していないようであるが、朝夕の交通渋滞の問題を抱える中、事業が進捗していない理由があれば教えてもらいたい。 また、可能な範囲で、今後の見通しを示してもらいたい。</p>	<p>・現在、美濃加茂バイパスに関連する周辺事業の整備状況や周辺開発の状況等を踏まえ、案内標識見直しや車線運用の変更等の短期対策を実施するとともに、美濃加茂バイパスを含めた可茂エリア全体における優先整備順序の検討をしており、今後、事業の着手時期を含めて検討してまいります。</p>
<p>説明資料から事業の全体像を把握するのは困難。「(2)計画概要」に記されている「美濃加茂バイパスは、平成24年度までに全線2車線で開通、平成26年3月に太田町～山手町間(延長0.9km)について4車線で開通しています。」は、「事業の進捗」であり「計画概要」ではなく、事業期間や「完成4車線化」というキーワードが入った資料が提示されるべきかと思われる。</p>	<p>・1. 事業概要_(2)計画概要に残事業の説明を追記しました。</p>
<p>美濃加茂市は人口増加しているとのことだが、美濃加茂市は外国からの期間労働の方の割合が多いと思うが、一時的な滞在者をカウントすることに問題はないか。 委員会資料は本事業が計画された当初から現在までの人口増加で説明されているが、近年の人口は減少していることが美濃加茂市の資料に示されている。 事業を進めていくことの根拠として、過去からの経緯を踏まえながらも、現状に即した説明がなされるべきと考える。</p>	<p>・人口の推移は、岐阜県が実施している人口動態統計調査の結果より掲載しており、常住しているものとして外国人を含んでおります。 また、令和3年に美濃加茂市が実施した市民アンケート結果では、回答数の約5割が永住・特別永住者であり、定住者も含めると約7割となることから、外国人を含めた割合で人口増加を示す事は問題無いと考えております。</p> <p>・美濃加茂市の人口は、令和2年度から令和3年度に減少していますが、説明資料では、事業の進捗に合わせた長期的な人口の推移を整理しております。</p> <p>引き続き、事業の必要性については、地域の実情を考慮し、現状に即した説明に留意して参ります。</p>
<p>バイパスが都市(古くからの市街地の中心部)の空洞化、すなわちスプロール化をさらに進めることになっていないか?住宅、商業開発などが、都市周縁の広範な地帯に無秩序に拡大、すなわちスプロール現象がさらに拡大することに対して、本事業として関連した都市計画のなかで議論されてきたのか教えてほしい。</p>	<p>・美濃加茂バイパスは都市計画に位置づけられた道路であり、美濃加茂市では都市計画マスタープランを実現するために都市機能の適正な立地を図る「美濃加茂市立地適正化計画」を策定しています。 ・ご指摘のスプロール化については、美濃加茂市立地適正化計画において課題としてあげられており、美濃加茂市において議論されていると認識しています。</p>